

2016年12月2日 学術論文（共著論文）を更新

今年の日本体力医学会（岩手）で池袋さん（学外共同研究者）が発表した「下肢筋群の筋体積と体重との関係」に関する論文（第1著者：池袋敏博）が、Gazzetta Medica Italianaにアクセプトされました。

2016年11月4日 学術論文（共著論文）を更新

今年の日本体力医学会（岩手）で石垣（D2）が発表した「腱の超音波輝度変動係数による腱コラーゲン線維配向の定量化」に関する論文（第1著者：石垣智恒）が、J Biomechにアクセプトされました。研究室として初めての大学院生が第1著者の論文です！！

2016年10月27日 学術論文（第1著者の論文）を更新

今年の日本体力医学会（岩手）で発表した「短縮性および伸張性トレーニングが腱の力学的特性および血液循環に及ぼす影響」に関する論文がSports Med Int Openにアクセプトされました。

2016年10月10日 研究業績（招待講演）を更新

第43回日本臨床バイオメカニクス学会（2016年10月8～9日 北海道）のシンポジウム「先端的計測手法によるバイオメカニクス研究の新たな可能性」で招待講演（ヒト生体における筋および腱の力学的特性の機能的役割と可塑性）を行いました。

2016年9月26日 研究業績（学会発表）を更新

第71回日本体力医学会で、久保、石垣（D2）、河野（M2）、池袋（明治大嘱託職員）が一般発表を行いました。

2016年8月26日 研究業績（著書、学会発表）を更新

腱血流に関する章を分担執筆した書籍（Metabolic Influence on Risk for Tendon Disorders）がSpringer International Publishingから出版されました。

第67回日本体育学会で一般発表を行いました。

「筋および腱の力学的特性と筋線維組成との関係」

2016年5月7日 研究業績（総説・解説）を更新

体育の科学5月号に、連載記事（第6回目）が掲載されました。

「腱の血液循環」 ＊これが最終回です。

2016年5月4日 学術論文（第1著者の論文）を更新

「短距離選手におけるActive筋ステイフネス」

に関する論文がJ Sports Sciにアクセプトされました。

2016年4月11日 研究業績（総説・解説）を更新

体育の科学4月号に、連載記事（第5回目）が掲載されました。

「腱の伸展性を高める方法」

2016年3月16日 研究業績（総説・解説）を更新

体育の科学3月号に、連載記事（第4回目）が掲載されました。

「アイソメトリックスが腱に及ぼす影響」

- 2016年2月6日 研究業績（総説・解説）を更新
体育の科学2月号に、連載記事（第3回目）が掲載されました。
「腱の力学的特性と筋機能およびパフォーマンスとの関係」
- 2016年1月27日 学術論文（第1著者の論文）を更新
「長距離選手における着地時の関節角度と腱特性との関係」
に関する論文がSpringerPlusにアクセプトされました。
- 2016年1月15日 研究業績（総説・解説）を更新
体育の科学1月号に、連載記事（第2回目）が掲載されました。
「腱の成長・加齢変化」
- 2015年12月8日 研究業績（総説・解説）を更新
体育の科学12月号に、連載記事（第1回目）が掲載されました。
「腱の力学的特性の測定」
- 2015年9月21日 学会発表を更新
第70回日本体力医学会で一般発表を行いました。
「陸上長距離選手の足底屈筋群における筋および腱の力学的特性」
第66回日本体育学会で一般発表を行いました。
「陸上長距離競技成績に及ぼす下肢筋群の腱組織の力学的特性の影響」
- 2015年7月27日 研究業績（著書）を更新
長谷川博先生（広島大学）にお声かけ頂き、
「Endurance Training」の3章分の翻訳を担当させて頂きました。
- 2015年7月18日 学術論文（第1著者の論文）を更新
学術論文（第1著者の論文）の掲載ページを追記しました。
- 2015年4月8日 学術論文（第1著者の論文）を更新
「長距離選手におけるPassiveおよびActive筋ステイフネス」
に関する論文がJ Biomechにアクセプトされました。
- 2015年4月1日 新メンバーの加入
博士課程に石垣智恒さん、修士課程に河野真大さんが入学しました。
後日、メンバーページを作成します。
- 2015年3月16日 学術論文（第1著者の論文）を更新
「長距離選手の走パフォーマンスと腱特性との関係」
に関する論文がEur J Appl Physiolにアクセプトされました。
- 2014年11月15日 学術論文（第1著者の論文）を更新
「異なる筋収縮の繰り返しが腱の血液循環に及ぼす影響」
に関する論文がInt J Sports Medにアクセプトされました。
- 2014年9月24日 研究業績（著書）を更新
宮村実晴先生が編集された「運動生理学のニューエビデンス」
が刊行されました。2010年に引き続き、分担執筆させて頂きました。
- 2014年9月1日 学術論文（第1著者の論文）を更新

- 「長距離選手における足接地パターンとアキレス腱特性との関係」
に関する論文がJ Sports Sciにアクセプトされました。
- 2014年8月27日 学術論文（第1著者の論文）を更新
「Active筋ステイフネスの定量法」
に関する論文がJ Appl Physiolにアクセプトされました。
- 2014年7月20日 招待講演を更新
第22回日本運動生理学会（川崎医療福祉大学）のキーノートレクチャーで
招待講演（腱の機能的役割と可塑性）を行いました。
- 2014年4月1日 学術論文（第1著者の論文）を更新
昨年日本体力医学会（東京）で発表した「腱特性と筋形状の成長変化
における部位差」に関する論文がClin Biomechにアクセプトされました。
- 2014年4月1日 科学研究費補助金（基盤B）の内定を頂きました。
研究活動を継続出来ることを嬉しく思います。
関係された先生方に御礼申し上げます。
- 2014年1月13日 学術論文（第1著者の論文）を更新
「発育に伴う膝蓋腱の形状と力学的特性の変化」
に関する論文がJ Appl Biomechにアクセプトされました。
- 2013年12月16日 学術論文（第1著者の論文）を更新
今年の運動生理学会（埼玉）で発表した「筋腱の成長変化と骨年齢との関係」
に関する論文がInt J Sports Medにアクセプトされました。
- 2013年11月25日 招待講演を更新
第22回日本柔道整復接骨医学会のシンポジウムで
招待講演（腱のトレーニング）を行いました。
- 2013年10月10日 受賞を更新
今年（2013年）7月に第21回日本運動生理学会で発表した演題が、
実は**学会大会賞**を受賞していました。
（本人は授賞式に出ていなくて、10/10までつゆ知らず・・・）
- 2013年9月24日 学会発表を更新
第68回日本体力医学会で一般発表を行いました。
「膝伸筋群および足底屈筋群における腱特性と筋形状の成長変化」
- 2013年9月10日 学術論文（第1著者の論文）を更新
浅部および深部における『筋』の血液循環の比較に関する論文が
J Sports Med Phys Fitnessにアクセプトされました。
- 2013年7月29日 学会発表を更新
第21回日本運動生理学会で一般発表を行いました。
「足底屈筋群における筋・腱特性の成長変化と骨年齢との関係」
- 2013年7月24日 学術論文（第1著者の論文）を更新
昨年の体力医学会（岐阜）で発表した「腱特性に及ぼす遺伝子多型の影響」

に関する論文がSpringerPlusにアクセプトされました。

2012年11月10日 学術論文（第1著者の論文）の掲載ページを追記

2012年9月18日 報告書その他、学会発表、自己紹介、研究内容を更新

2012年7月2日 学術論文（第1著者の論文）、招待講演を更新

2012年5月12日 学術論文（第1著者の論文）を更新

2012年1月4日 ホームページを大幅にリニューアル（とりあえず・・・）